



座談会「聞いてみよう」初企画のご報告！



6月の青空会で、座談会「聞いてみよう」の初回を開催しました。

この2年、コロナ禍で定例会もままならず、小さな出来事、悩み、楽しかったことなど、会員同士が膝を交えて話す機会が本当に少なくなっていました。

これまでの親の会の活動で、施設見学や学習会などを通じ、暮らしの場、制度・サービスについて学ぶ機会を得て来ましたが、『実際のところはどうか？』という思いから、その点を座談会テーマとし「入所施設」「グループホーム」「在宅」での生活の実態を赤裸々に(^.^)（笑）話してもらおう！と企画いたしました。

初回は「施設」での生活について、安味さんより伺いました。施設入所に至るまでの経緯から始まり、「ネット環境はある？」「余暇時間は？」「自分のSwitchは使っているの？」「病院の受診は？歯医者さんは？」「爪は誰が切ってくれるの？」「お洗濯は？」「おやつは食べられるの？」「年金やお金の管理は？サービスの支払は誰が？」・・・などなど、具体的な実生活の様子をうかがうことが出来ました。

入所生活の中でご本人の特性の理解、支援の方法をチームで検討し、将来の地域生活（グループホーム）に移行する取り組みも伺うことが出来ました。とても興味深く、大変勉強になりました。

次回は「グループホーム」の生活です。次回も赤裸々な(^_^)-☆お話が聞けるかと！期待しています！

斉藤



令和4年度 北海道自閉症協会総会 報告



令和4年度の北海道自閉症協会総会が7月3日（日）リモートにて開催され、仲上、斉藤が出席いたしました。令和3年度事業報告、収支決算報告、監査報告、令和4年度事業計画案、収支予算案についてはすべて承認されました。令和3年度から、これまでの事務局長業務を見直し、業務別に各分会へ分配し、活動をする事になり、北広島分会はオホーツク分会と会報誌「ともしび」の編集を担当しています。2年任期の為、今年度も継続して担当をいたします。

総会終了後、午後の部は各分会からの情報交換を行いました。各分会の今年度の事業計画について、世界自閉症啓発デーについて報告がありました。各分会で取り組む自閉症啓発デーの企画、あり方などについても意見交換等行いました。北広島分会からは、昨年度に引き続き、コロナ禍における福祉サービス、特にショートステイの現状について、伺いました。どの地域も緊急事態宣言が出ていた際、または地域で感染者数が多くなった際は、ショートステイの受け入れが中止になったが、その後現在まで、ほぼ通常通りショートステイも再開している状況でした。中には事前にPCR検査を必ず受けてからの受け入れをしている地域もありました。

北海道自閉症協会主催の事業として、今後講演会等の企画を検討することになり、各分会で会員の希望をまとめ、次の役員会（10月）で持ち寄り検討することになりました。自閉症部会の皆様にはまた、別途ご意見を伺わせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

斉藤

K.L.U.C レクリエーション企画 2022 ～夏祭りレク～ 参加報告

今年6月、「K. L. U. C」の方より、夏祭りレクのご案内をいただき、子供に話をしたところ、参加したいとの事でしたので、申込みをしました。

7月2日（土）星槎道都大学体育館にて行われ、縁日の形態で遊ばせてもらいました。

久しぶりの行事で、楽しかったと。とても嬉しそうに話しておりました。

コロナ対策を考えながらの企画で、気を使う事も多かったと思いますが、参加させていただいて良かったです。

中川



「北海道フロック地域指導者育成セミナー」に参加して

地域指導者育成セミナーが、肢体不自由児者に対する合理的配慮に基づく「車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用について」をテーマに7月9日～10日の2日間にわたり、札幌市「かでの27」にて開催されました。

療育ハンドブック第47集「シーティングで代わる障害児者の未来」を著した山崎泰宏による講演に加え、娘が車いすシーティングの体験を受けました。数年前に講演を聞いて人生の大半を車いすで過ごす子どもの二次障害が心配で直ぐにシートを変えましたが、今回直接見て頂き修正するところもわかり、参加して良かったです。

井上



第32回全道肢体不自由児者福祉大会旭川大会 開催のご案内

主催	公益財団法人北海道肢体不自由児者福祉連合協会 旭川肢体不自由者父母の会
大会期日	10月8日（土）・9日（日）
大会会場	旭川市障害者福祉センター「おびった」体育館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番7号 TEL (0166) 33-5940

第2回あ〜と展覧会2022 作品募集！！

目的	自分の作品をみてもらう喜びや、一つの作品を完成させることで味わう達成感 生き甲斐や楽しみを見つけるきっかけ作りと、隠れた才能の発掘
期間	7月5日（火）～9月30日（金）
主催	一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会
対象	障害のある方 （年齢・障害種別は問わない）
作品	絵画・書道・写真・イラスト コンピュータアート・木工 縫製・染色 ・応募は1人2点以内 ・オリジナル作品であれば、 作品の制限等はありません ・グループ作品も可
展示	全肢連HP上に全作品を展示 （WEB展覧会）
応募方法	HPまたはメールにて ・ファイル形式はPDF・JPEG等、データ量1MB以上を推奨 ・USB等のメディアに記録して郵送も可 ・現物は送付不可。写真等で撮影して応募ください
必要事項	① 作品タイトル ② 応募者名 ③ 障害名 ※作品審査の参考にします ※WEB掲載時は公表いたしません ④ 性別、年齢（学部・年） ⑤ コメント 作品の内容、アピールポイント等をご本人・支援者の方で記入ください ※作成している様子を「写真」で添付できる方はお願いします 応募条件ではありません ⑥ 所属 父母の会、学校・事業所名等を記入ください ⑦ 連絡先 連絡先が所属の場合は、必ず担当者名も記入ください ・住所・電話番号 ・メールアドレス ・担当者名
注意	応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、主催者は応募作品のWEB投票、審査結果発表及び広報のため等に無償で、様々なツールへの掲載、展示及び複製する権利を有します。
問い合わせ先	一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会 あ〜と展覧会2022 運営事務局 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709 TEL：03-3971-3666 / FAX：03-3971-6079 / アドレス：art-zenshiren@zenshiren.or.jp



WEB
<https://www.zenshiren.or.jp/>
E-mail
art-zenshiren@zenshiren.or.jp



令和4年度 障がい児者の学び・体験推進事業



学びを通じた居場所づくり事業「いんくる一む」開催のご案内

目的	共生社会の実現に向け、誰もが参加できる学びの場「いんくる一む」を実施し、全ての人の場所づくり、健常者の障がい理解の促進を図ることを目的とする。					
主催	北海道教育委員会		北広島市教育委員会			
協力	わくわくピース総合型クラブ					
期日	令和4年8月～令和5年2月までの毎月1回（全7回） いずれも日曜日の10:00～12:00					
実施日	8月7日	9月25日	10月2日	11月27日	12月25日	1月8日 2月12日
会場	北広島市中央公民館 講堂（9:00～13:00 予約） 〒061-1123 北海道北広島市朝日町5丁目1-1 TEL 011-373-0101					
講師	わくわくピース総合型クラブ		対象	どなたでも	申し込み	不要
内容	ポッチャ・スラックライン・車いす競技・トリコロキューブなど誰もが参加できるルールにアレンジを試みながら、老若男女、障がいの有無を問わず場の提供として実施する。					
問い合わせ先	北広島市教育委員会教育部社会教育課 担当：古内 TEL 011-372-3311（内線4844） FAX 011-372-4525 メール seiya.furuuchi@city.kitahiroshima.lg.jp					



北海道知的障がい者芸術祭



あーと も こころ みんなあーと 2022 「芸術の力、燃える心」開催のご案内

北海道在住の知的障がい児者の芸術活動を推進し、広く啓発するためにはじめた「みんなあーと」は、今回で20回目を迎えます。今回は、新しい試みとして、ステージ部門のオンラインライブ配信されます。

主催	一般社団法人北海道知的障がい福祉協会	
特別後援	北海道共同募金会	
後援(予定)	北海道 札幌市 北海道手をつなぐ育成会 北海道障がい者職親連合会	
芸術祭運営	北海道知的障がい福祉協会みんなあーと実行委員会	
日時・会場	日付	時刻
展示部門	9月15日（木）	9時～17時
	9月16日（金）	9時～17時
	9月17日（土）	9時～15時
	会場	かでの展示ホール 札幌市中央区北2条西7丁目
ステージ部門	9月17日（土）	12時～17時（予定）
	会場	かでのホール 札幌市中央区北2条西7丁目

※ 展示部門の作品応募・ステージ部門募集の**申込み締切りは、8月22日（月）16:00**

詳しくは、中川まで。

お知らせ

1. 余暇支援活動（バスレク）のご案内 10月1日（土） 白老ウポポイ見学
※ 詳細は、配布される案内をご覧ください。
2. 10月の青空会では研修事業を開催します。
予定していました座談会「聞いてみよう」「山崎様：在宅での生活」は12月に変更します。

情報コーナー



ネット情報①

国立障害者リハビリテーションセンター

発達障害情報・支援センター <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

『女性の困難さへの気づきと対応（支援者向け）』ご紹介

自閉症スペクトラム障害（ASD）の特性があり、小・中・高等学校の通常級にいる思春期の女子を想定し、学校生活での気づきと支援のポイント、他の団体の参考資料もまとめられています。思春期女子の学校生活のリーフレットもダウンロードできます。是非一度ご一読ください。

ネット情報②

北海道医療的ケア児等支援センター（<http://mcc-hokkaido.net/>）開設（医療法人稲生会内）

医療的ケア児及びその家族が個々の医療的ケア児の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるようにするため、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」第14条（令和3年6月18日法律第81号）に基づき、道では、「北海道医療的ケア児等支援センター」を令和4年6月30日に設置しました。

活動報告		
3月25日	社会福祉協議会 評議員会	佐藤（み）
6月21日	社会福祉協議会 評議員会	佐藤（み）
6月28日	第1回北広島市障がい者自立支援協議会 全体会	加藤・斉藤
7月9日・10日	全肢連・北海道ブロック地域指導者育成セミナー	井上
7月10日	第1回全道父母の会会長会議・事務局長会議	井上
7月3日	北海道自閉症協会総会	仲上・斉藤
7月25日	第2回北広島市障がい者自立支援協議会 生活支援部会	斉藤
7月26日	令和4年度第1回北広島市地域連携コンソーシアム会議	斉藤

令和4年度会費納入のお願い

- ・ 年会費 6,000 円
- ・ 会費に関するご相談は会計までお願いします。

【お振込み先口座】

北海道銀行 北広島支店
(普) 115-0431123
北広島市しょうがい児者を持つ親の会
会長 加藤 裕子

この会報は、会の趣旨に賛同下さる方々に、私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。

ほかの目的に使用しないよう、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さるようお願いいたします。

🌻会報担当🌻

中川 斉藤 佐藤 井上